

街に出る文学  
ライブ文学館  
スペシャル

# 家族の風景

向田邦子の

まなざし

朗読と音楽のひとつき

第一部

『父の詫び状』より「父の詫び状」ほか

[朗読] 山根 基世<アナウンサー>

[音楽] 榊原 光裕<ピアノ>

佐藤 聡子<ヴァイオリン>

渡辺 公章<バンドネオン>

第二部

対談「向田邦子のまなざし」

[ゲスト] 向田 和子<向田邦子実妹・エッセイスト>

[聞き手] 山根 基世

2017年

3月17日[金]

18:30開演(18:00開場)

会場

日立システムズホール仙台

<仙台市青年文化センター>

シアターホール

仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

入場料[全席指定] 3,500円(当日 3,700円) 前売り開始日 1月13日(金)

\*「仙台市市民文化事業団友の会」「仙台文学館友の会」会員は、前売券のみ3,200円

\*未就学児の入場はご遠慮ください。

\*車椅子席は数に限りがございます。仙台文学館までお問い合わせください。

プレイガイド

\*「仙台市市民文化事業団友の会」「仙台文学館友の会」会員は、日立システムズホール仙台、イズミティ21、仙台文学館で、電話予約と友の会割引が可能です。

◆藤崎 ◆仙台三越 ■仙台文学館 ☎022-271-3020 ■イズミティ21 ☎022-375-3101

■日立システムズホール仙台<仙台市青年文化センター>1階事務室 ☎022-727-1875

チケットぴあ【Pコード/634-669】 ローチケ.com【Lコード/21642】

主催/公益財団法人仙台市市民文化事業団 企画・構成/仙台文学館



<公財>仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1

<http://www.sendai-lit.jp>

# 家族の

# 風景

向田邦子の  
まなざし

人の心が繊りなす機微を、おだやかな筆致で描いた向田邦子。没後35年を経た現在も多くのファンを魅了し続けています。特に向田作品における「家族」の像は、家族だからこそ生じる感情のぶつかり合いとすれ違いを、時にストレートに、時にコミカルに、時にシリアスに書き、多くの読者の共感と呼んでいます。

今回は仙台での出来事を記した「父の詫び状」など、自身の家族について描いたエッセイを、アナウンサー・山根基世さんの朗読と、音楽演奏で味わうとともに、実妹の向田和子さんをお迎えし、姉・向田邦子の素顔についてお話を伺います。向田作品に描かれた昭和の「家族」の風景に、思いをはせてください。

- 朗読予定作品
- ◆「傷だらけの茄子」(『霊長類ヒト科動物図鑑』文藝春秋)
  - ◆「字のない葉書」(『眠る壺』講談社)
  - ◆「父の詫び状」(『父の詫び状』文藝春秋) {ほか \*各作品は抜粋になります}



## 山根基世 (やまね もとよ)

山口県生まれ。アナウンサー。1971年早稲田大学文学部卒業。同年、NHK入局。「新日曜美術館」「ラジオ深夜便」などの他、「NHKスペシャル」の「人体」や「映像の世紀」シリーズのナレーションを担当。2007年、NHK定年退職後、LLP「ことばの杜」設立。2013年LLP「ことばの杜」解散後、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けている。「感じる漢字」「ことばで「私」を育てる」他、著書多数。



## 榎原光裕 (さかきばら みつひろ)

ピアノ

宮城県生まれ。仙台一高、東北大学工学部、パークリー音楽大学卒業。1996年、宮城県芸術選奨新人賞受賞。作曲家としての作品は、JR仙台駅発車音楽など。1991年スタートの「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」などの企画、プロデュース、音楽監督も。1990年から宮城教育大学など各大学にて、またさまざまな講座の講師をつとめている。ピアニストとしては、Happy Tocoでの演奏活動を行うほか、朗読に音を添えるステージなども行っている。



## 向田和子 (むこうだ かずこ)

東京生まれ。エッセイスト。向田邦子の実妹。実践女子短期大学を卒業後、保険会社などに勤務。1978年、姉・邦子とともに東京赤坂に惣菜・酒の店「ままや」を開店。20年間営業を続ける。著書に「向田邦子の手料理」「かけがえのない贈り物 ままや姉・向田邦子」「向田邦子の青春 写真とエッセイで綴る姉の素顔」「向田邦子の遺言」「向田邦子の恋文」「向田邦子 慕しの愉しみ」等がある。



## 佐藤聡子 (さとう さとこ)

ヴァイオリン

秋田県生まれ。4歳よりヴァイオリンをはじめる。秋田高校、東北大学文学部哲学科美術・西洋美術史専攻卒業。大学院在学中に、ラジオパーソナリティやリポーターをしながら、演奏活動もスタート。Happy Tocoでの演奏活動を行うほか、歴史的建造物、図書館、美術館といった空間でのコンサート企画に力を入れている。また、建築家とともに、リトルプレス「musa musa」を刊行している。



## 渡辺公章 (わたなべ きみあき)

バンドネオン

山形県生まれ。6歳より矢野吉晴氏にピアノを学ぶ。筑波大学第一学群社会学類卒業。フランスにて、ファン・ホセ・モサリーニ氏に出会いバンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。2009～2013年、フランス音楽の紹介と日仏間の音楽家の交流を目的とするNPO「日仏楽友協会」のプロデューサーとして多くの演奏会を企画、自身も演奏を行った。また、仙台を中心とするタンゴグループ「タンゴ・アリエント」を立ち上げ、東北を中心に演奏活動を展開している。

## 向田邦子 (むこうだ くにこ)

1929年、東京生まれ。実践女子専門学校国語科を卒業後、映画雑誌編集記者を経て、放送作家となりラジオ・テレビで活躍。代表作に「だいごんの花」「七人の孫」「寺内貫太郎一家」「阿修羅のごとく」「隣の女」等がある。1980年「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」で第83回直木賞を受賞。著作に「父の詫び状」「眠る壺」「無名仮名人名簿」「思い出ランプ」「あ・うん」「霊長類ヒト科動物図鑑」「夜中の薔薇」「女の人差し指」「男どき女どき」等がある。1981年、航空機事故にて急逝。1998年、かごしま近代文学館の常設展示室に向田邦子コーナーができる。

### 『父の詫び状』(1978年 文藝春秋)

「銀座百点」に連載した作品をまとめた、初のエッセイ集。「何様でもない平凡な一家族の、とりとめもない話」を描く。乳癌の手術後、右手が動かず、左手で書いたもので「誰に宛てるともつかない、のんきな遺言状を書いて置こうかな、という気持ち」だったと、あとがきに記されている。



### 〈会場と交通のご案内〉

## 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)シアターホール



※ご来場の際は、できるだけ地下鉄やバス等の公共交通機関をご利用ください。

※再生紙を使用しています。このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。

お問合せ

## 仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1 ☎022-271-3020